

三原やっさのすばらしさ

みなさんは、三原やっさのすばらしさってなんだと思いますか。私は「踊っている人も見ている人も笑顔になれること」だと思います。そう思ったのは、総合的な学習の時間での、やっさの学習がきっかけです。学習を進める中で、実際にやっさ踊りをやってみよう、やっさ祭りに出場しようということになりました。私は、三味線を担当しました。練習では、何も考えずただ演奏することを意識しました。練習は大変でしたが、一人一人が声を出せば、まわりの人の笑顔が増えると思って頑張りました。

やっさ祭り本番は、西小学校はトップバッターでした。私はすごくきんちょうして、バチがうまく持てず大変でした。しかし、まわりを見ると、たくさんのお客さんが、楽しそうにほほ笑んでいることに気付きました。それを見たら、私も何だか楽しい気持ちになりました。

このとき、私は、「やっさ踊りは、踊っている人も、見ている人も、いっしょに楽しめる踊りだな」というやっさのすばらしさを感じることができたのです。練習がたらく感じることあつたけれど、踊り終わって、誰もが笑顔になれる、本当にすばらしい踊りだなと感動しました。

私は、6年生なので、西小やっさは今年で最後になります。でも、中学生になっても、やっさに参加したいと思っています。そして自分が感じた「踊っている人も、見ている人も笑顔になれる」というやっさのすばらしさを伝えるために、これからもやっさにかかわり続けていこうと思いました。



わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します
— 連載第27回 —

ありがとう — 感謝の気持ちを忘れずに —

私の住んでいる三原は、「海・山・空」、自然がそろった素晴らしい町です。私の住む船木地区には「広島スカイアーチ」があります。広島県北部や山陰と広島空港を結ぶ大空への架け橋で、橋長800M、地上高190M、アーチ部分の長さ380Mで、日本一を誇るアーチ橋です。この橋を利用して、多くの人が三原を訪れることを願っています。

また、三原には季節ごとにたくさんの方々の行事や祭りが開催されていて、三原市の魅力の一つになっています。8月に開催される三原やっさ祭りは、440年以上の伝統を持ち、30数万人で賑わいます。私は、この祭りのやっさ踊りに3回参加しました。熱気に溢れ、笑顔でいっぱいなのとても充実した時間を過ごすことができました。このようなイベントに積極的に参加することを通して、私も三原市をもっと盛り上げていきたいと思っています。

私の通っている本郷中学校は「文武両立」をめざし、勉強や部活動に取り組んでいます。学習面では、「本GOノート」という教科の復習や予習をしたものをノートにまとめたり、一日の振り返りを書くためのノートに取り組んでいます。部活動では朝練・午後練と一日の練習に日々取り組み、大会でも多くの部が好成績を収め、活躍しています。

また、生徒会の取り組みとして、あいつつ運動・清掃や募金などのボランティア活動を行っています。地域の方々も朝の登校時間に安全に登校できるような見守り活動をしてくださっています。

このように、私たちはたくさんの方々を支えられて学校生活を送っています。私たちも感謝の気持ちを忘れずに、「ありがとう」であふれる本郷中学校にしていきたいです。

